

第4回竹フォーラム H27.11.26

タケノコを中心とした 竹林管理の現状と課題

竹林利活用アドバイザー
野中重之

日本の竹(世界の竹)

種類 14属650種(世界46属1250種)

日本の三大竹

モウソウチク・マタケ・ハチク

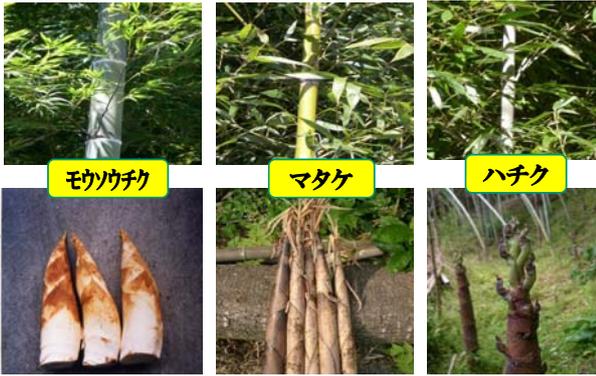
面積 26万ha(2,000万ha)

分布

温暖地域:大径竹

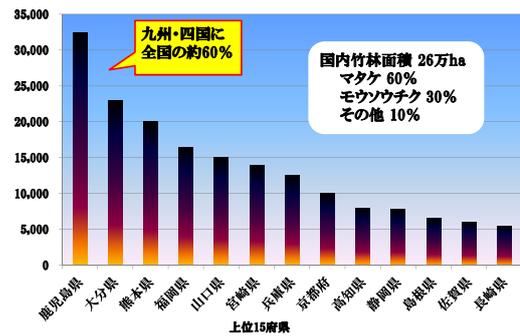
寒冷地域:ササ系統

日本の代表的な有用三大竹の特性



関東以西に多い三大竹

林野庁による推定面積 (ha)



日本人は竹の良さを
上手に利活用してきた

生活用品 竹細工 食用
農林漁業 建築

文化芸術 民俗行事 茶 文学

防災 堤防 防風 緊急避難

鑑賞 庭園

日本の多くの竹は
水平方向に地下茎で繁殖

日本の多くの竹:短軸型



モウソウチク

亜熱帯の竹:連軸型



ホウライチク

竹1本の寿命は短いですが竹林としては永久
 - 親竹1本に連なる地下茎とタケノコ -



竹の拡大メカニズム

- 竹藪内では
水・養分・光を求めて隣接地へ
- 侵入先では
驚異的な伸長で被圧・枯損
- 競争力旺盛 ※ 直径×130倍→

驚異的な成長と競争力旺盛な竹
 - 侵入～被圧～枯損へ

竹の成長 : ①各節に成長点 ②短期間で上伸成長
 竹の競争力: 日通直径×130倍→180以上にも

「竹の伸長と競争力」
 竹は50日でヒノキより上部に

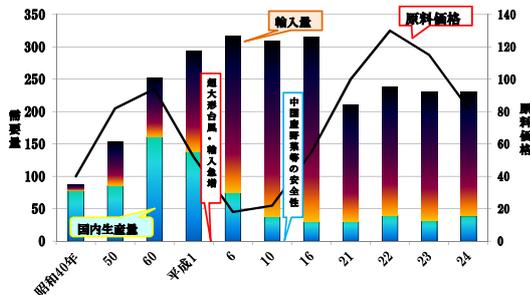


**タケノコ・竹材は里山の収入源であったが
 何故、竹林は放置されたのか**

- 中国等から大量 安価なタケノコ・竹製品の輸入
- 生活様式の変化や
代替品の進出で竹材需要減
- 里山を守ってきた人々の
高齢化・後継者不足

モウソウチク林放置の2大要因

台風被害と輸入 ケノコ需要量:千トン 価格:円/kg



中国産タケノコ事情

中国産タケノコの影響で

国内タケノコ生産者(含む水産業界)は約30年間
 大打撃を受け放置林急増!

しかし、今、中国は

経済成長・中産階級の増加でタケノコ事情大きく変化

- ①中国国内の消費量急増 → 20年前3.2倍
- ②缶詰加工賃の大幅な上昇 → 20年前3.6倍
- ③輸入量減少 → 10年前の66%
- ④低い食の安全性 → 中国野菜残留農薬・餃子事件 等

国産嗜好の高まり → 国内タケノコ復活のチャンス

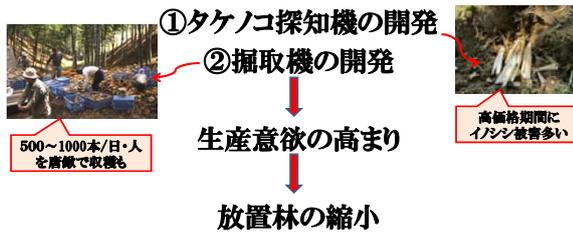
竹林整備の効果



早期ほど高値のタケノコだがイノシシ被害も多い



タケノコ生産現場からの声



他の樹種には見られない竹の再生力 竹材の有効利用が竹藪防止最善策



日本古来の
マタケは
危機的状況に

テングス病の拡大で瀕死のマタケ林



竹のテングス病



まとめ

タケノコを掘り伐竹材を使う事が
竹藪防止の対策

適正密度の竹林は宝の山！
竹の高再生力を活かす新たな竹材利用を！

